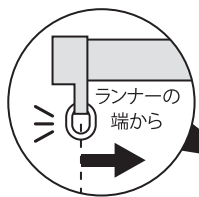


カーテンの採寸方法と仕様の選び方

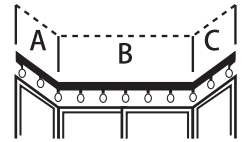
① レールの横幅(長さ)を測ります



機能性レールの場合	装飾レールの場合
採寸する横幅 レール両端の固定されているランナーの間を測ります。	採寸する横幅 リングランナーを端まで移動した一番長い横幅を測ります。

■ 出窓の場合

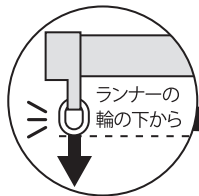
レールの端から端までの長さを測ります



【台型出窓】の場合

採寸する横幅=A+B+C

② レールからの高さを測ります



※『窓枠』とはサッシ枠ではなく、造作材の枠のことです。



掃出し窓 (出入りのできる窓)	腰窓 (腰の高さ程度の窓)	出窓 (窓が窓台の奥にある場合)
採寸する高さ ランナーの輪の下から床までの長さを測ります。	採寸する高さ ランナーの輪の下から窓枠の下までを測ります。	採寸する高さ ランナーの輪の下から窓台(天板上)までを測ります。 ※右図の様に、出窓の外側にレールが付いている場合、高さは、腰窓と同様に窓枠下までを測ります。

※カーテンのご注文サイズは採寸サイズを元に計算するため、採寸サイズとは異なります。
仕上がりサイズは、幅は、採寸サイズにゆとりを加えた最適な長さで自動計算されます。
丈は一般的に1~2cmマイナスとなりますが、腰窓の場合は15~20cmプラスとなります。

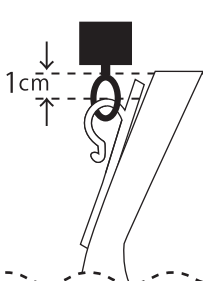
採寸方法について詳しくはこちら→



③ フックの種類を決めます

Aフック ※標準

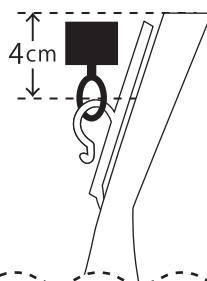
レールを見せる



フックの上に生地の上上がりが1cmできます。

Bフック

レールを隠す



フックの上に生地の上上がりが4cmできます。

機能性レール		装飾レール	
天井付け または カーテンボックス 付け	壁に 正面付け	段差あり※ (奥: 機能性レール)	段差なし (水平)
A A	A A レールを隠す場合は【B】フックに	B A	A A

※段差のある装飾レールの場合、必ず各々のレールから必要な高さを採寸してください。
※形状記憶加工済みのカーテンの場合は、ウェーブがきれいに出来る【Aフック】がおすすめです。

④ カーテンの開き方を決めます

両開き 2枚で1組、1窓分となります。

片開き 1枚で1組、1窓分となります。

縦長窓や小窓など幅が小さい窓には『片開き』がおすすめです。

